

令和元年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和元年 7月25日（木）	北仙道公民館	19:00～20:00	17	5	22

○市側出席者

市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

○開会（秘書課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。連携の相手方として地元の団体、企業、近隣市町、県、友好都市や姉妹都市、などがある。連携を深めていくためのキーワードとして、以下の3つを掲げている。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

2015年国連サミットで採択されたもので、2030年までに全世界一緒になって達成すべき目標とされる。17のゴールの中には日本においては既に達成されているものや、市政に馴染まないものもあるが、幅広く大事な意味を持つものもある。様々な相手との連携のための共通の物差しとして、国際的な視野を持ちながら地域課題を見つめ直すことも重要である。市の各事業が17の目標のどれに該当するか、特に環境や技術革新などに係るものについては意識しながら進めている。

・萩・石見空港の利活用

空港は重要な交通インフラである。東京線は平成26年から現在の1日2往復の便が復活したが、首都圏との行き来が比較的スムーズにできるのもこのおかげである。うち1便は国の発着枠政策コンテストにより得たものであり、何度かの期間更新を経て、今年度末でいったん終了する。その後は未定であり、継続のための実績をしっかりと作らなくてはならない。4～6月は前年度を上回ったが、7月以降（予約ベース）苦戦している。厳島神社が改修中で、これに絡む西日本方面の観光が落ち込んでいるとのこと。また夏季限定運航の大阪線については、搭乗率は80パーセント前後を維持しているため、ANAに対し粘り強く運航機会の拡大を訴えていく。引き続き市民の皆様のご協力をお願いしたい。先日アイルランドの自転車競技の選手たちがオリンピックの事前トレーニングのために来益した。このキャンプ誘致も空港があるから実現したものである。

・ひとづくりと人材確保

「人口拡大計画」「総合戦略」を作り、人口減少に歯止めをかけようと取り組んできたが、その中で様々な施策を行う人材の確保が課題であり、若者が地元に着し、地域づくりに参加してもらうことが重要である。「ひとづくり協働構想」を定め、未来の担い手、しごとの担い手、地域づくりの担い手の育成を、企業や地域の方々と連携して進めている。安田小では授業で地域に出かけてもらい、実地に学んでもらったことを発表してもらうことなどを行った。都市部からも益田市のひとづくりに関心のある方に参加してもらうなど、ひとづくりのまちとしての発信が活発になっている。「ひとが育つまち益田」という評価を確かなものにしていきたい。

○意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① I o Tについて
- ② きのこハウスの商品について
- ③ 養豚事業について

- ④ クマ出没への対応について
- ⑤ 職員の出向について
- ⑥ コンプライアンス教育について
- ⑦ 市道の修繕について
- ⑧ 高齢者の免許返納について
- ⑨ 全国植樹祭について

○ 閉 会 （秘書課長）

令和元年度「市長と語り合う会」

〔会場 北仙道公民館〕 開催日時：令和元年7月25日（木）19:00～20:00

要 望 事 項 等	回 答
<p>① I o Tについて 山間部でインターネットを活用する者はそんなにいないと思うが、どういうものなのか。</p>	<p>① 実証実験を行っている。水路に水位計を付けデータを蓄積して、水害等の被害軽減に役立てることができる。またスマートヘルスケア（血圧計のデータをネット経由で集め、島大医学部に送信・蓄積して注意を促したり、研究に役立てる）などの事業を行っている。自動運転や高齢者の見守り、鳥獣被害対策などに発展する可能性を持っている。</p>
<p>② きのかハウスの産品について 「まつきのこ」というものを広島の方で作っており、世羅のドライブインなどでとても売れている。きのかハウスでそれを作ったらと言ったが、特に反応がない。エリンギは競争が激しくなっているのので、売れるものを作ったらどうか。</p>	<p>② エリンギ、ヒラタケを栽培しており、販売先もある。広島のメーカーと提携して佃煮などの商品開発も行うなど努力されている。昨年度は暖冬で売上減だったが、利益は確保できており、それほど悪い状況ではない。株式会社なので、基本的に経営は役員に委ねるが、障がい者就労支援という目的は担保しなくてはいけない。</p>
<p>③ 養豚事業について 少し前に豚舎建設の説明会があったが、その後音沙汰がない。情報があればお聞きしたい。</p>	<p>③ 5月の自治会長会議でご意見いただいた。市としては事業者から必要書類の提出があれば受けざるを得ない。周辺環境に配慮すべき事業であることは確かで、住民説明をしっかりと行うよう指導していく。</p>
<p>④ クマ出没への対応について 山間地に出てもいちいち知らせてくれない。山で出たクマを殺してはいけないのだったら、町に出たときに面倒を見れるのか。</p>	<p>④ 数年前匹見でも問題になったので、県にも申し入れをした。クマは全国的には保護鳥獣ではないが、西中国では要保護となっている。まず頭数把握を厳密に行うこと、地域住民の理解を得られる運用を県に求めた。一方で動物愛護団体等の主張もあるので、調整をしながら対処していく必要がある。</p>
<p>⑤ 職員の出向について 出向している職員はいるか。</p>	<p>⑤ 県の出先機関、県内市町村職員で構成する事業組合等に出向している職員がいる（西部県民センター、後期高齢者医療組合）。</p>
<p>⑥ コンプライアンス教育について 職員に教育をしているか。立派な者もいるが、ちょっとどうかという職員に出くわすこともある。</p>	<p>⑥ 先に公表した国営農地分担金の時効消滅問題について、法に基づく適切な対応ができず、大変な失態であった。担当者、上司、また市長自らについても処分を行った。任意での支払いを引き続きお願いしている。債権管理についての研修会も行っている。市道管理の件もお聞きし、適切な処置を指示した。</p>
<p>⑦ 市道の修繕について 上津田赤雁中谷線修繕の見通しが当分先のように聞いている。バス路線であり早く着工してほしい。</p>	<p>⑦ 他にも多くの路線で修繕を要する状況で、要望もいただいている。予算の限りがある中で優先度の高いものから計画的に進めている状況である。ご要望にも配慮しつつ、できるだけ早く行いたい。</p>

⑧ 高齢者の免許返納について
返納を考える歳になった。以前高齢者へのバス切符配布があったと思うが、現在、返納者へのそうした制度はあるか。

⑨ 全国植樹祭について
来年の植樹祭で天皇が来られたら、帰りは萩・石見空港を使っていただきたい。ひれふり苑で苗木を作っているの、見ていただけるとありがたい。

⑧ 市としての措置はないが、バス会社において返納証提示で運賃割引になることがある。タクシーが1割引きになる制度もある。市がやるか民間会社がやるかは、その自治体ごとに様々である。

⑨ そうしたことができるかどうか、検討していきたい。